



LOGICOOL FOR BUSINESS

ともにより良 い未来を目指 しましょう

サステナビリティの実現には
全員が協力する必要があります。
以下は、ロジクールの手組み
みです。

logicool



サステナビリティとユーザーへのロジクールのコミットメント

原材料の調達段階から、製品の寿命を迎えるまで、ロジクールでは、サステナビリティをあらゆる設計方針の中核に据えています。細部にまでこだわることで、より良い未来への大きな一歩となるのです。

本書は、サステナビリティ目標を達成するためサプライチェーンを最適化する方法と、お客様がロジクールのサステナビリティへのコミットメントをより良くご理解いただけるように作成されました。当社とお客様の力を合わせることで、大きな変革をもたらすことができます。



\$1349 億

グリーンテクノロジーおよび
サステナビリティ市場の
2030年の推定規模、
2024年の286億ドルから拡大

出典：<https://www.prnewswire.com/news-releases/green-technology--sustainability-market-worth-134-9-billion-by-2030---exclusive-report-by-marketsandmarkets-302059420.html>

サステナビリティ：「エコ」ストーリー以上のもの

よりサステナブルなテクノロジーソリューション市場を牽引しているものは何でしょうか？

- 政府による規制の強化
- 企業のサステナビリティプログラムの成長
- 消費者の意識と要求の高まり
- B2B 購買のコンシューマライゼーション

サステナビリティへの取り組みは、 現在どの段階に進んでいますか

サステナブル IT を提唱する人々は、組織が環境に負荷をもたらす原因が IT 部門にあるとする一方、その負荷を削減するためには IT 部門の協力が必要であることを強く認識しています。購入先の企業は、サステナブルな事業活動に取り組んでいますか？

98%

事業をよりサステナブルなものにしていくことが自らの役割であると回答した CEO の割合。

出典： <https://www.accenture.com/us-en/insights/sustainability/ungc>

64%

ESG とサステナビリティの取り組みにおける主導的存在になることが、不可欠または非常に重要な次年度の事業目標であると回答した IT プロフェッショナルの割合。

出典： フロスト & サリバン 2023 年グローバルクラウド調査 (n=757)



サステナブル IT の実現に向けた活動計画

より持続可能な IT* 組織を実現することは多大な努力と長期的なコミットメントが必要で簡単ではありませんが、すべての道のりは、正しい方向への一歩から始まります。

ステップ 1

組織の現時点でのカーボンインパクトを把握します。これは、自社の業務のカーボンインパクトだけでなく、自社が調達し、使用しているすべてのテクノロジーを含むサプライチェーンのカーボンインパクトも測定することを意味します。これを基準値として、次年度以降に再測定することで、自社の調達方針がカーボンフットプリントを削減しているかどうかを確認することができます。

ステップ 2

購買を決定する要件やガイドラインをまとめます。スコープ 3 の排出量削減のための優先順位を決め、ベンダーの評価と選定を行います。



ステップ 3

RFP にサステナビリティの取り組みと実績を開示することをベンダーに要求する基準を含めます。ベンダーの評価基準には次のようなものがあります。

- 正式なコミットメント
- 製品ライフサイクルにわたるサステナビリティの取り組み
- 環境および社会に焦点を当てた取り組み
- 測定可能なカーボンインパクトの追跡記録
- 第三者による評価

次の数ページは、お客様の会社のスコープ 3 の排出量を削減し、カーボンインパクトを削減するため、ロジクールが行っている取り組みです。

*サステナブル IT（「グリーン IT」）は最近登場した新しい概念で、「IT 部門が大規模な組織の ESG 目標達成を支援するために行う取り組み」を指します。
https://www.softwareag.com/en_corporate/resources/it-portfolio-management/guide/guide-to-sustainability-in-it.html

スコープ 3 の排出量と IT 購入戦略

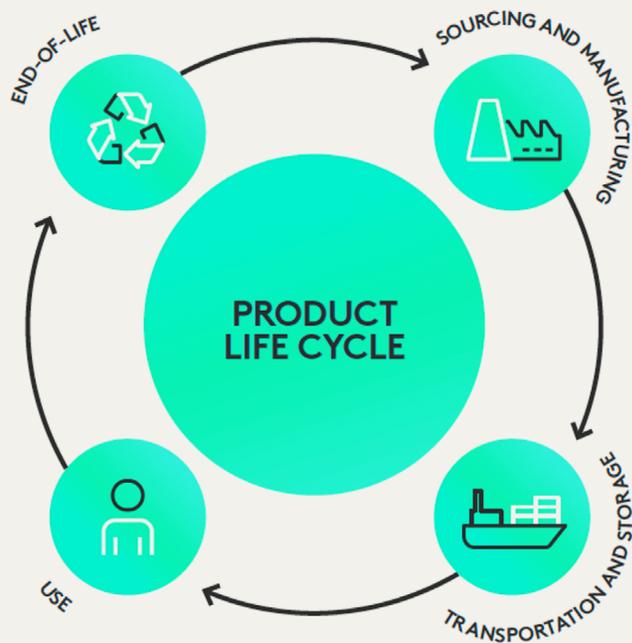
多くの組織において、環境負荷の最大の要因は、自社の事業活動ではなく、外部のサプライチェーンにあります。*

ベンダーの環境負荷（ベンダーと、ベンダーのサプライヤーのカーボンフットプリント両方を合わせたもの）の測定と透明性のある報告を求めることで、IT リーダーは、自社のサステナビリティ目標を達成するために戦略的な購買を行うことができます。これらの目標を達成するために、スコープ 3 の排出量** を主要な焦点とする必要があります。



*<https://www.accenture.com/us-en/insights/supply-chain-operations/supply-chains-key-unlocking-net-zero-emissions>

**カーボンフットプリントや温室効果ガス排出量を測定・削減しようとする組織の側から見ると、温室効果ガス (GHG) 排出量は 3 つに分類されます。スコープ 1: 組織の施設からの直接排出。スコープ 2: 組織が購入した電力の発電時の排出。スコープ 3: サプライヤーまたはベンダーからの排出量を含む、その他の間接排出。

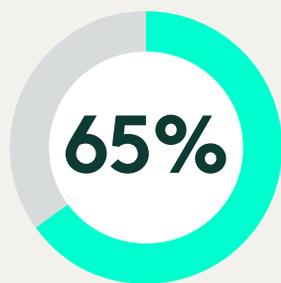


ロジクールがサステナビリティを考慮した設計を行う方法

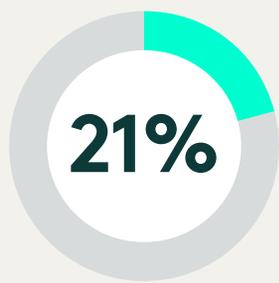
ロジクールは、新製品開発や既存製品の刷新の際に、サステナブルデザイン（DfS）の原則を積極的に取り入れています。

ロジクールは、設計主導型企业として、環境への影響を最小限にするための最も重要な機会が設計の初期段階に発生すると考えています。以下は、ロジクールの取り組みの一部です。

- 製品の設計段階でカーボンインパクトに関する深い専門知識を持つ専任エンジニアチームを含める
- 当社は、原材料の調達段階から製品の寿命が尽きるまで、あらゆる設計段階で、環境や社会的な影響を考慮をしています。例えば、ロジクールではハードウェア製品に Next Life Plastics（またはポストコンシューマーリサイクル（PCR）プラスチック）を可能な限り取り入れています。
- ロジクールは「サステナビリティデザイン」の原則に基づき、よりサステナブルな材料への転換を加速し、ポートフォリオ全体のカーボンフットプリントを削減しています。ロジクール製品の 3 分の 2 に NEXT LIFE PLASTICS を使用しています。その多くは低炭素材料で作られ、FSC™ 認証のパッケージで出荷されます。
- 不要になったビデオ会議用機器が埋め立て処分されないよう、製品回収・リサイクルプログラムを導入



ロジクールのカーボンフットプリント全体のうち、原材料の調達と製品の製造が占めている割合



低炭素材料の使用、再生可能エネルギーの使用、および製品設計の見直しにより削減された間接排出量の割合

重点的に取り組む分野



クリーン製造

- 再生可能エネルギー
- エネルギー効率
- 責任ある企業同盟 (RBA)



原材料 & カーボン透明性

- Next Life Plastics
- 低炭素アルミニウム
- 再生ファブリック
- FSC™ 認証パッケージ
- カーボンインパクトラベル



エネルギー消費

- 一体型システム
- 省電力
- 電源設定
- 電源管理



製品の寿命を延ばす

- ソフトウェア更新による新機能
- 交換可能なパーツ



リサイクル

- Select による製品回収とリサイクル



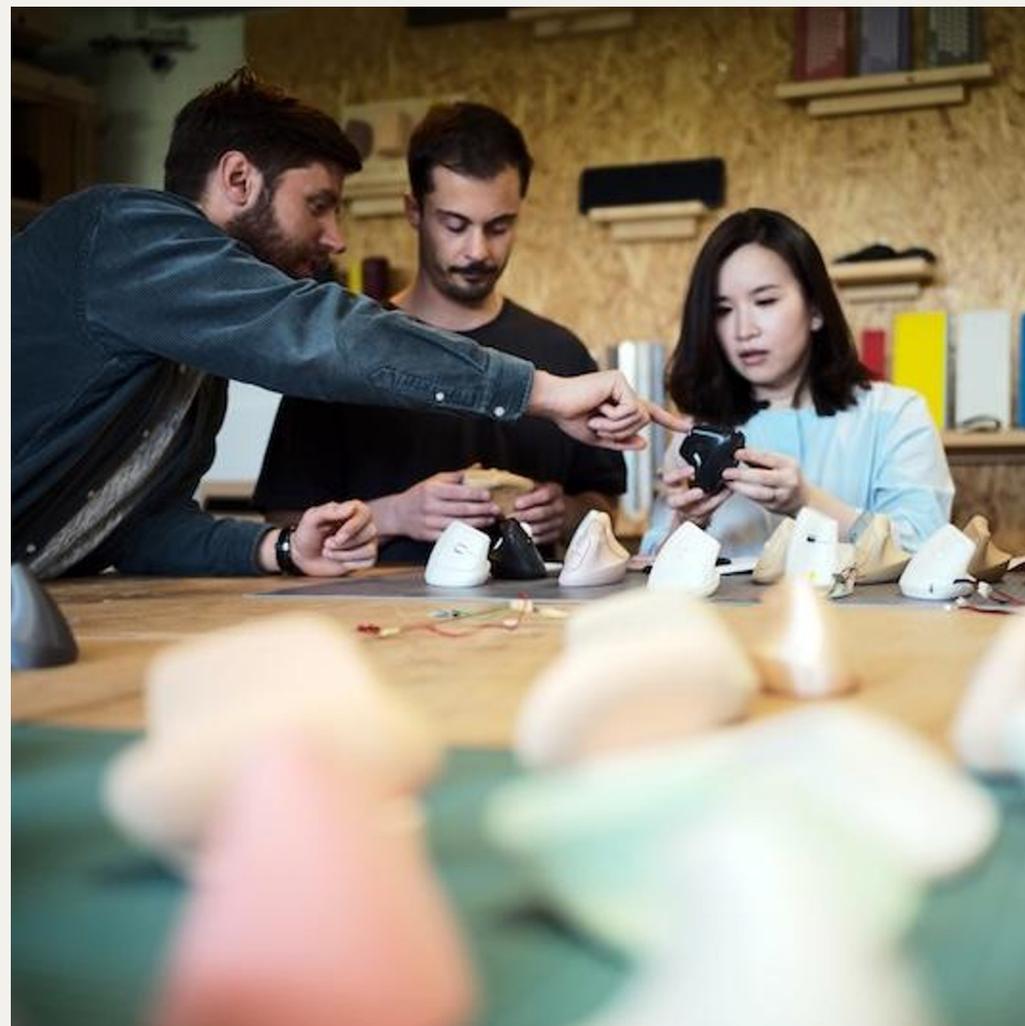
ロジクールはサステナビリティを考慮した設計をし、製品の気候変動への影響を最小限に抑えることを目指すイノベーションを行っています。ロジクールの目標は循環性を高めながら、カーボンフットプリントを削減し製品パフォーマンスを最適化することです。

- ロジクールのビデオ会議室ソリューション、その中でも一体型ビデオバーは、必要なデバイスの数や消費電力を削減することができます。
- ロジクールはスペアパーツを提供し、部品を交換可能にしています。
- ロジクールは CollabOS と Logi Tune を通して、年に複数回のソフトウェアアップデートを行い、新機能の追加、連携の強化、パフォーマンスの向上を実現しています。
- ビデオ会議室が使用されていないときは、アイドル状態やスリープ状態に移行し、その状態を維持し続けます。
- 会議室で何も行われていない場合は省電力モードへの移行を促し、CEC 対応の TV ディスプレイの電源を切ることができます。



製造時のカーボン インパクトを削減する

- **再生可能エネルギー**：ロジクールが生産施設とオフィスは、再生可能エネルギーによる電力の直接購入または間接購入により、再生可能エネルギー割合で 94% を達成しました。
- **製造工程におけるエネルギー削減**：低炭素材料の使用、製品設計の見直し、サプライヤーの再生可能エネルギーへの転換を支援することで、2022 年には 21% の炭素削減を達成しました。
- **第三者機関による審査と認証**：第三者機関による厳格な審査と認証を受け、排出量が実際に削減されたことを保証しています。



責任ある原材料の使用

ロジクールは、製品に使用する原材料の環境への影響を削減するため、常に革新的な取り組みを行っています。ロジクールの製品ポートフォリオ全体で、炭素排出と環境への影響を削減するために、ロジクール製品の3分の2、CollabOS 搭載製品ではすべてで、ポストコンシューマーリサイクル（PCR）プラスチックが使用されています。

- **NEXT LIFE PLASTICS** 従来であれば埋め立て処分されていた電子機器廃棄物から再生されたプラスチック
- **低炭素アルミニウム 43** 製品ライン*で使用され、22年には9600トン以上の二酸化炭素相当量を削減。**
- 未使用のポリエステル代わりに再生プラスチックを使用して作られた**リサイクルファブリック**
- **FSC™** 認証済みの森林などの適切に管理された供給源の原材料を使用した**パッケージ**



*2023年3月までに、低炭素アルミニウム部品を使用した製品ラインの数を単純集計。

**化石燃料で製造されたアルミニウムと比較して、低炭素アルミニウム部品を使用した製品を出荷することにより、2022年1月1日から2022年12月31日までの期間で削減された炭素量として推定。



カーボンインパクトラベル

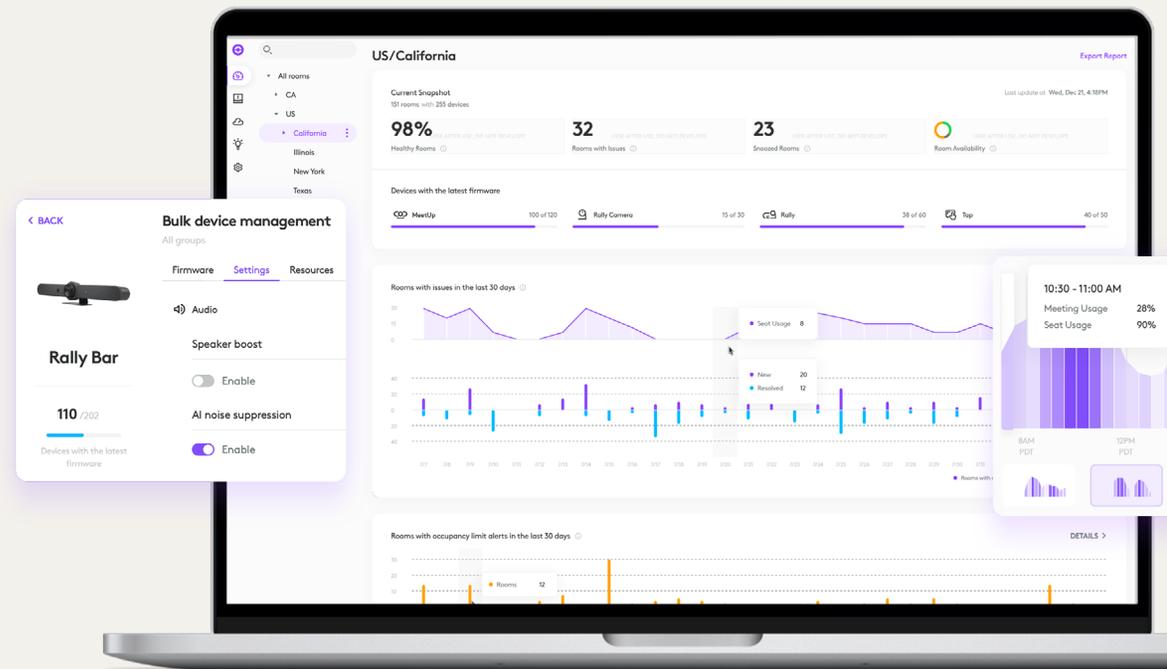
ロジクールでは、カーボンインパクトについて透明性を保ち、その削減について責任を負っています。ロジクールは、自社の全ての製品にカーボンフットプリントのラベルを貼付する取り組みを始めた業界初の企業です。

- 2022 年に出荷されたロジクール製品の 42% にカーボンフットプリントラベルが貼付されています（2021 年は 17%）。
- ロジクールは、サステナビリティの取り組みにさまざまな人々が関与できるように、製品パッケージとウェブサイトでもカーボンフットプリントに関する情報を提供しています。
- ロジクールは、全ての製品にカーボンフットプリントのラベルを貼付するという目標を 2025 年には達成する予定です。

エネルギー消費量の削減

ロジクールハードウェアとソフトウェアを組み合わせ、お客様の会社の電力消費を管理できます。

- **一体型システム**は、従来の会議室システムよりも消費電力が少なくなっています。当社のビデオ会議室ソリューション、その中でも一体型ビデオバーは、他のコンピュータ、スピーカー、マイクの追加を必要とする会議室システムに比べ、必要なデバイスの数や消費電力を削減することができます。
- **電源設定**によって、機器が未使用の時に電源を切ることができます。ロジクールビデオ会議ソリューションを稼働する CollabOS ソフトウェアは、会議室が空き状態になったことを検知して、自動的に機器の電源を切るように設計されています。





循環性： 製品寿命を延ばし、 廃棄物を削減

製品をより長く使用できるように設計しています。この目標を達成するための1つの方法は、ソフトウェアの更新で製品の寿命を延ばすことです。製品を頻繁に交換する必要がなくなり、埋め立て処分される廃棄物を減らすことができます。

- **ハードウェアの寿命を延ばす**ため、ソフトウェアの更新でパフォーマンスを向上させ、Zoom、Microsoft Teams、Google などの製品との連携を強化し、機能を追加しています。
- 可能な限り**交換可能な部品を製品に組み込ん**でいるため製品を買い替えることなく修理が可能です。ヘッドセットのイヤーパード、リモコン、ビデオバーのバックカバーなどが交換可能。

Select による リサイクル

ロジクールは、お客様の会社と協力して廃棄物を削減し、有用な材料を再利用するなど、ビデオコラボレーション製品の責任ある確実なリサイクルをお約束します。

Select サービスプランの一部である**製品回収・リサイクルプログラム***は、メーカーに関係なくお客様が古いビデオ会議用機器をリサイクルするのを支援します



ロジクール SELECT サービスプラン

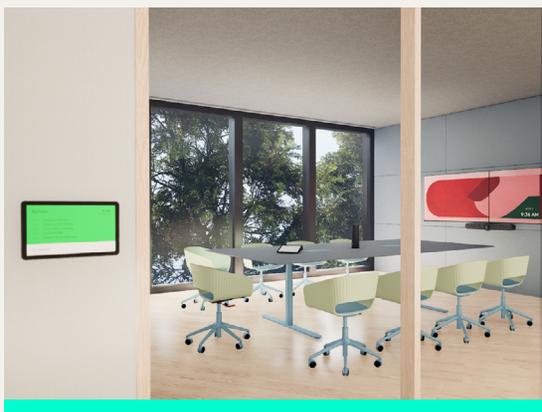
すべての会議室を対象とした包括的なサービスプランである Select を利用して、ビジネスの継続性を確保しましょう。

*ロジクールは現在、2024 年後半に Select サービスへの正式導入を目指して、お客様の関心を早期に集め、サービスをより洗練させるために本プログラムの試験導入を行っています。プログラムへのご参加は必ずしも保証されているものではありません。興味があるお客様は、詳細情報と資格要件について、アカウントマネージャーにお問い合わせください。

サステナビリティを考慮したワークスペースソリューション

パーソナルワークデスク、フレックスデスク、および会議室用の製品を含めて、ロジクールのパートフォリオ全体が、サステナビリティを考慮して設計されています。これらの多くは、Microsoft Teams、Zoom、Google Meet でも認定を受けています。

会議室



推奨製品

Rally Bar ファミリー
Tap Scheduler
Tap IP コントローラ
RoomMate

デスクの共有



推奨製品

Logi Dock Flex
Brio 305
Signature Slim MK950/955 for
Business

パーソナルデスク



推奨製品

Brio 505
Wave Keys for Business
LIFT FOR BUSINESS
Zone Vibe Wireless



概要：CollabOS デバイス

ロジクールは法人のお客様のサステナビリティ目標達成を支援するため、2024年1月から、ロジクール CollabOS オペレーティングシステムで動作するすべてのビデオコラボレーションデバイスは、Next Life Plastics（再生プラスチック）を使用することを発表しました。* 既存の Rally Bar、Rally Bar Mini、Tap IP、Tap Scheduler、RoomMate は、カーボンインパクトを削減する素材を使用して更新されます。

クリーンな製造	+ 再生可能エネルギー
エネルギー消費	+ 一体型デザイン + CollabOS ソフトウェア
原材料 & カーボン透明性	+ NEXT LIFE PLASTICS + 低炭素アルミニウム + 再生ファブリック + FSC 認証パッケージ
長い製品寿命	+ ソフトウェア更新による新機能 + 交換可能なパーツ
リサイクル	+ Select による製品回収とリサイクル



関連情報：NEXT LIFE PLASTICS の製品別の割合

プラスチック部品：ポストコンシューマーリサイクル（PCR）認定プラスチックの使用割合（%）は、製品の色によって異なります。
PCR 使用割合（%）は、プラスチック部品のみを基準として測定
詳細な公開情報は [こちら](#)。

*<https://ir.logitech.com/press-releases/press-release-details/2024/Logitech-First-to-Transition-Video-Collaboration-Portfolio-to-Recycled-Plastic-and-Next-Life-Materials/default.aspx>

例: Rally Bar Huddle

100% 再生ファブリック
交換可能なパーツ

再生可能エネルギーを利用
して製造された低炭素アル
ミニウム製のヒートシンク

FSC™ 認証済みの森林など
の適切に管理された供給源
の原材料を使用したパッ
ケージ

*FSC 商標ライセンス N003028



省電力モードによっ
て、Rally Bar ファミ
リーのカーボンイン
パクトを、1.65 トン
の二酸化炭素相当量削
減できる可能性があ
ります*

電子機器廃棄物から
再生された NEXT LIFE
PLASTICS を 42% 使用

Rally Bar Huddle は、ハドルルームや小会議室向けの一体型ビデオバーです。AI ビデオ インテリジ
ェンス、高度な集音機能、ノイズ抑制、優れたテクノロジー、洗練されたデザインを備えています

*EnergyStar 認定、50~69 インチ、省エネルギーモードの低消費電力テレビを基準として使用。ロジクールのカーボン透明性プログラムのグローバルな電力排出係数に基づいた数値です。社内の推計によれば、最適化前の使用段階におけるカーボンインパクトは、2年間で製品 100 台につき 95.4t の二酸化炭素相当量となっています。ロジクール社内のビデオ会議用機器のユーザーデータ（ビデオ会議室の使用状況の記録データに基づく）。

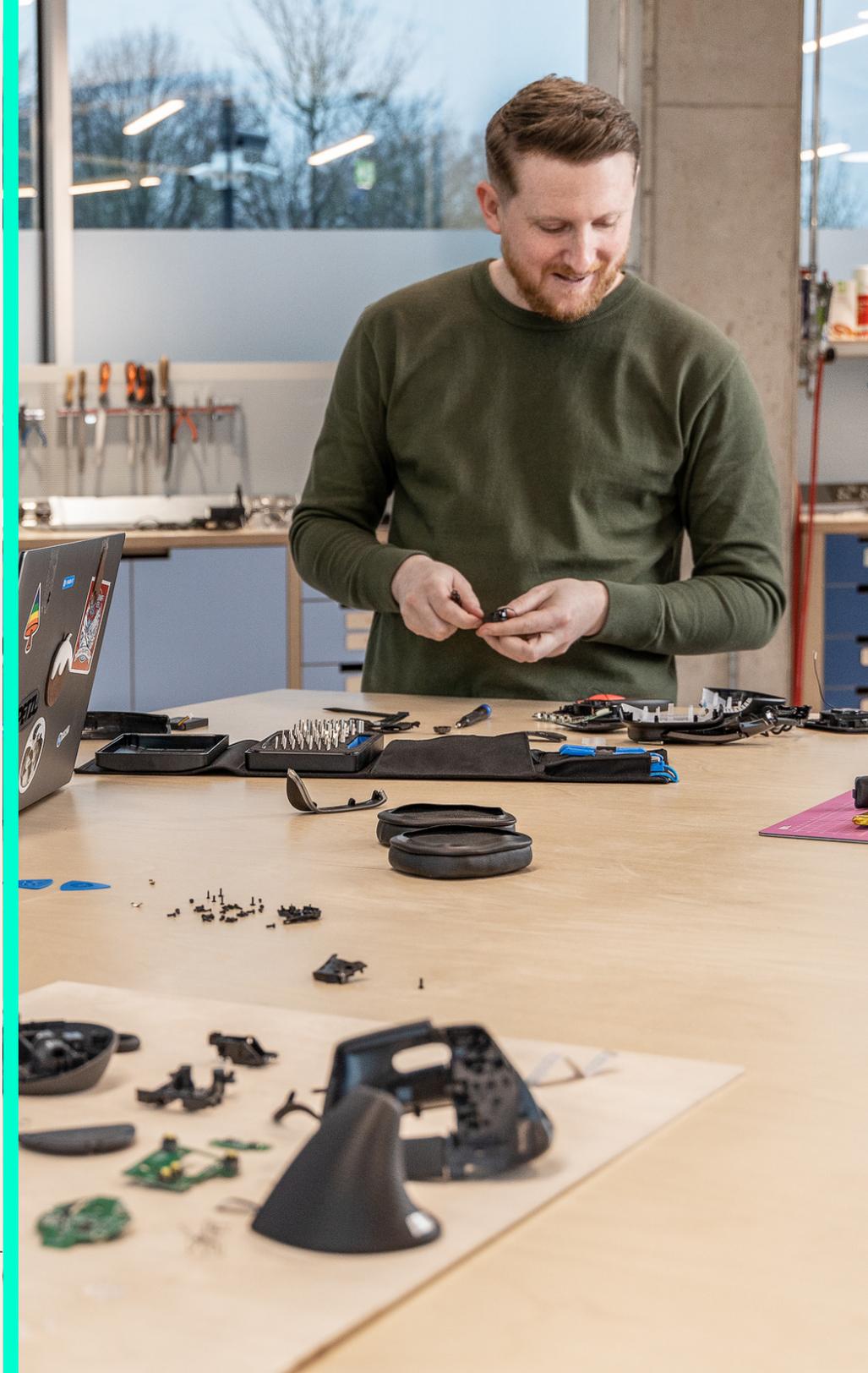
ロジクールの特長

ロジクールはサステナビリティに尽力するお客様のパートナーであり、法人のお客様向けに、サステナビリティ目標の達成を力強く支援します。

ロジクールの専門家チームが、お客様の会社の目標達成をサポートします。ロジクール製品の特長

- ロジクール「サステナビリティデザイン」の原則と専門性にアクセス
- ロジクールサステナビリティ専門家チームによる助言
- ロジクールのサステナビリティ専門家との相談
- パートナーおよび企業顧客向けの調達サポート
- 認定/報告リクエスト

詳細: logicool.co.jp/sustainabilityforbusiness



目標の達成をど
のように支援で
きるでしょうか

詳細はこちら

Prakash Arunkundrum (ロジクール最高執行責任者)

logicool

logicool.co.jp/sustainabilityforbusiness

購入前のお問い合わせ：
株式会社ロジクール
<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/video-collaboration/help/contact-sales.html>

購入後のお問い合わせ：
株式会社ロジクール
カスタマーリレーションセンター
<https://prosupport.logi.com/>

© 2024 Logitech, Logicool. All rights reserved. Logicool、Logicool ロゴ、Logi ロゴ、Next Life Plastics ロゴは、Logitech Europe SA および/または米国およびその他の国における関連会社の登録商標です。Google および Google Meet は、Google LLC の商標です。Microsoft Teams は Microsoft Corporation の商標です。ZoomはZoom Video Communications, Inc. の商標です。その他のサードパーティ商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。

発行：2024年4月